

米国における大学の情報公表：データベースを中心に

大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する
協力者会議
2011年6月17日

同志社大学 山田礼子



情報公開とIR

新しい高等教育のマネジメント:IR誕生の背景

- ▶ 日本の高等教育をめぐる状況の変化
競争的環境の創出、教育成果の提示、研究の高度化、
管理運営の組織化等
- ▶ 国立大学の法人化:中期目標・中期計画の策定と実行が
不可欠に
- ▶ 課題 データの一元化と管理 財務、教学、学生

- ・法人化以降 国立大学にとってデータの一元化は中期目標を
立てるうえでの重要な戦略
- ・経営面 安定した学生の確保と質の維持
- ・教育面 個々の大学における教育成果の提示をどうするかが
重要な論点

大学情報データベースとIR

大学評価の制度化＝定量的な根拠データの作成と評価報告書作成

IR＝大学の諸活動に関する情報の収集と分析、その情報システムの運用と活用



大学評価に必要な資料・データの収集・整備がなされている場合

- ①効果的な自己評価初・実績報告書の作成が可能
- ②評価に関連する作業の負担軽減
- ③評価時に限らず大学の自己改善活動や将来計画の策定の際にも有用

大学情報に関するデータベースの活用

- ▶ 文部科学省の統計情報(学校基本調査、学校教員統計調査等)
- ▶ 科学技術振興機構の研究開発支援総合ディレクトリ等
- ▶ 多くの大学では研究業績に関する教員情報のデータベース

しかし、IR部門がないため、これらの情報が有効活用されていない

また、評価あるいは現在社会から求められつつある各大学の情報公開データベースとしては使えない

情報公開を意識した大学改革事例と評価機関

- ▶ 九州大学・愛媛大学・名古屋大学等の事例
- ▶ 国立大学の監査室・評価室の事例
- ▶ 私立大学の事例

- ▶ 大学評価・学位授与機構のデータベース
大学情報データベースを構築し、2007年より運用開始



大学評価に利用できるデータベースを意識

前中教審で決定した情報公開の義務付け

- ▶ 義務付けられる情報公開－情報公開をどうするかは多くの大学にとって簡単ではない？
- ▶ IRと情報公開は深い関連性
IRの進捗によって標準データベースにもなる可能性
- ▶ 社会によくわかる情報を提供という声の高まり
 - 入試状況、財務状況、学生の学習成果
(できれば同様の指標で)

米国における大学情報をめぐる議論

スプリングス委員会における議論と報告書

- ▶ 2006年9月のレポート: A Test of Leadership: Charting the Future of U.S. Higher Education
- ▶ アクセス、アフォーダビリティ、アカウンタビリティという3つのキーワードと高等教育システムの改革の推進
- ▶ レポート内容
 - アクセス＝高等教育機会の拡大
 - アフォーダビリティ＝高等教育のコストに関係した概念
 - アカウンタビリティ＝情報公開と拡大する高等教育予算に対して学生の学習成果の提示

加えて

- Transparency (透明性)＝だれもがわかる内容で提示

学習成果の測定をめぐる議論

- ▶ アカウンタビリティとして学生の学習成果（ラーニング・アウトカム）を何らかの形で提示
- ▶ それまでは卒業率、リテンション率、大学院・プロフェッショナル・スクール進学率等が標準的な基準
- ▶ 機関によつての提示方法については独自性を尊重
 - ・標準試験結果、学生調査結果、卒業生調査結果、ルーブリック、ポートフォリオ等

米国における教育情報の実際と 基本的データベース

アクレディテーションが求める教育情報の実際

- ▶ WASCによるUCバークレーの学士課程教育の再認証にいたっての意見
 - ・2003年10月に実施された訪問調査の結果から
 - 学士課程教育で改善すべき具体的事項
 - ▶ 学生の学習について。。。。。。学習成果の評価についても実際に測定されていくと期待する。。。。。。具体的にはベンチマークを設定し、教養教育の成果や、学習のプロセス、を測定するなどが期待される
 - ▶ 学生の学習成果を社会に対して目に見えるように公開することを促進すべきである等々



現在は何らかの形で学習成果の提示

アメリカの基本データベース

- ▶ **米国**では、高等教育に関するデータベースは公的、商用をあわせ多数存在。**NCES (National Center for Education Statistics)**はさまざまな教育に関するデータを提供
 - ▶ **IPEDS (Integrated Postsecondary Education Data System)**は全米の高等教育機関を対象とした包括的なデータベースシステム
- ▶ **IPEDSに収集されるデータの項目例**
 - ▶ 基本的組織情報(所在地などの基本情報+入学要件、教育プログラムの内容、授与学位の種類、学費)
 - ▶ 財務情報=資金源ごとの収入、活動ごとの支出、施設、負債、基金などの財務情報
 - ▶ 入学状況、卒業率、在籍状況
 - ▶ 教職員給与
 - ▶ 職員情報、職員数
 - ▶ 奨学金情報

IPEDSとは？

- 高等教育情報の統合データベース(IPEDS)
- 高等教育機関レベルでの共通の質問項目をベースにしたデータベース
- 全米教育統計センター(NCES)が中心となって集積したデータから構成
- 連邦による奨学金プログラムを受給する資格のある(資格を得る)機関から集積するデータが基本

NCESとは?

- ▶ 米国や他の諸国の統計情報を集積、分析するための連邦機関
- ▶ NCESは米国教育省のなかにある機関

Source: <http://nces.ed.gov/about/>

IPEDSデータを誰が使用するのか？

IPEDS Survey
Submission

- ・ Congress
- ・ Federal Agencies
- ・ State Governments
- ・ Colleges & Universities
- Policy Makers

- ・ College Guidebooks
- ・ Accountability Groups
 - Measuring Up
 - Delta Cost Project
 - Common Data Set
 - Voluntary System of Accountability
- ・ Researchers

- ・ Guidance Counselors
- ・ Students
- ・ Parents
- ・ Media
- ・ Businesses
- ・ Others

機関のIPEDS担当者とは？

- ▶ IPEDSデータを提出している機関の代表者によって指名を受けている担当者
- ▶ IPEDSを使用あるいはデータを提出する担当者の役割:
 - ・できる限り正確なデータの提出
 - ・提出期限内でのデータの提出
 - ・IPEDSデータの重要性を機関内で認識させる・あるいは共有させること

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ

機関の特性というデータ:

- ・基本的な機関に関する情報
- ・共通の質問項目に回答という形でデータが提出

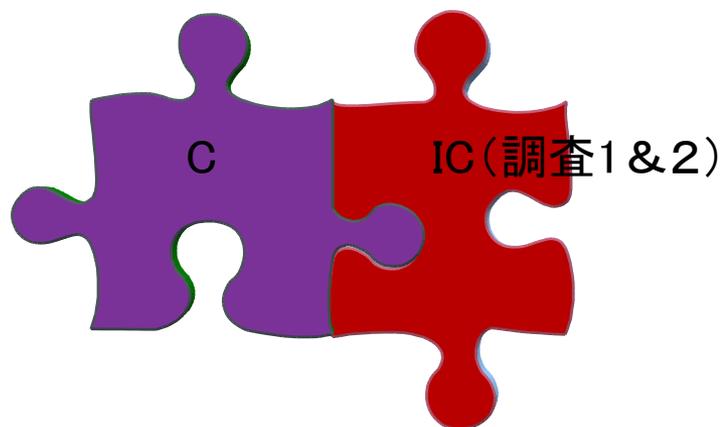


機関の特性というデータ

- 毎年提出
- 基本的情報とは？
 - 所在地と機関分類
 - 提供している教育情報(例 学士課程等)
 - 入学要件
 - 提供しているサービス内容
 - 学生納付金
 - 運動競技情報

機関の特性というデータ

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



学位等の情報:

機関が提供している終了学位
あるいは修了証に関する基本
情報

学位等の情報

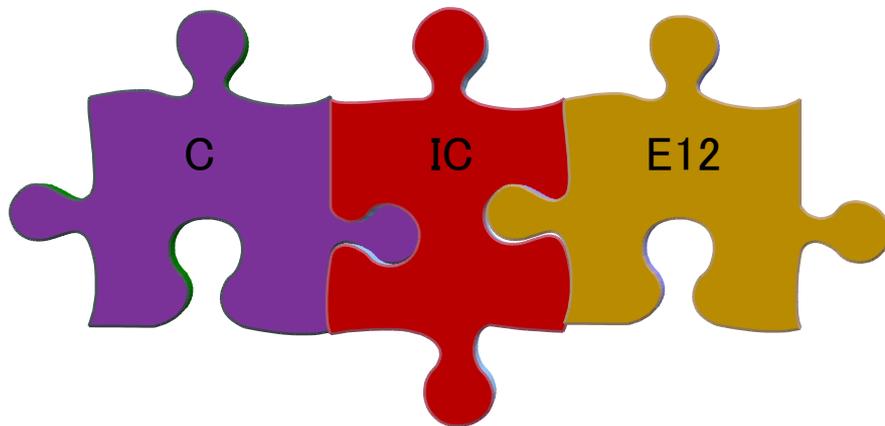
- ▶ 毎年提出
- ▶ 学位あるいはプログラム毎の修了者数
 - ▶ 前年度7月1日から当該年6月30日までの期間
 - ▶ 第一専攻と第二専攻までの修了者数を報告
 - ▶ CIPコードにしたがって報告

CIPコードとは？

- ▶ CIP: Classification of Instructional Programs
- ▶ IPEDS上での定義:
 - ▶ 中等教育機関および中等後教育機関プログラムの分類コード
 - ▶ CIPコードは連邦政府によって定義づけられた基準にしたがって分類されている教育内容に関するコード

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



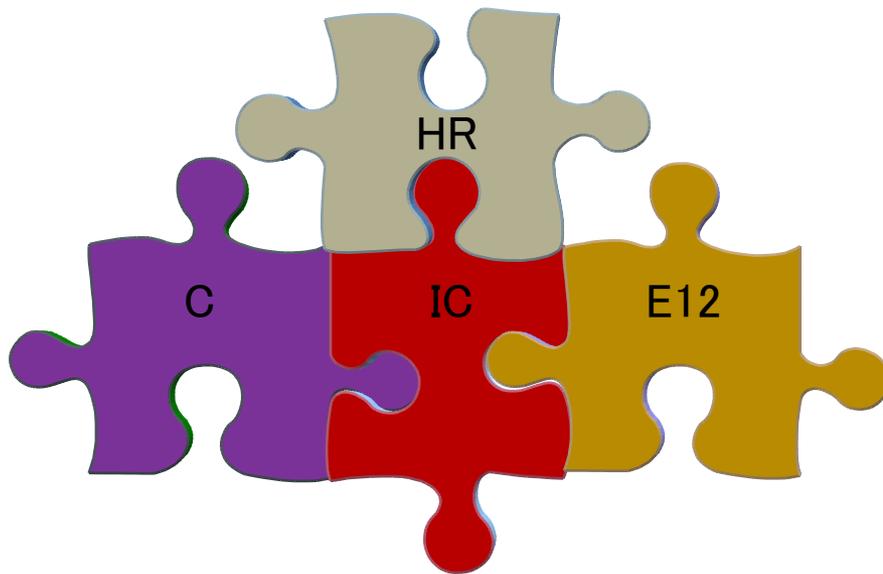
12 か月間の登録者数
(登録者数):

年間登録者数と授業活動

毎年提出
重複しない登録者数と単位
情報

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



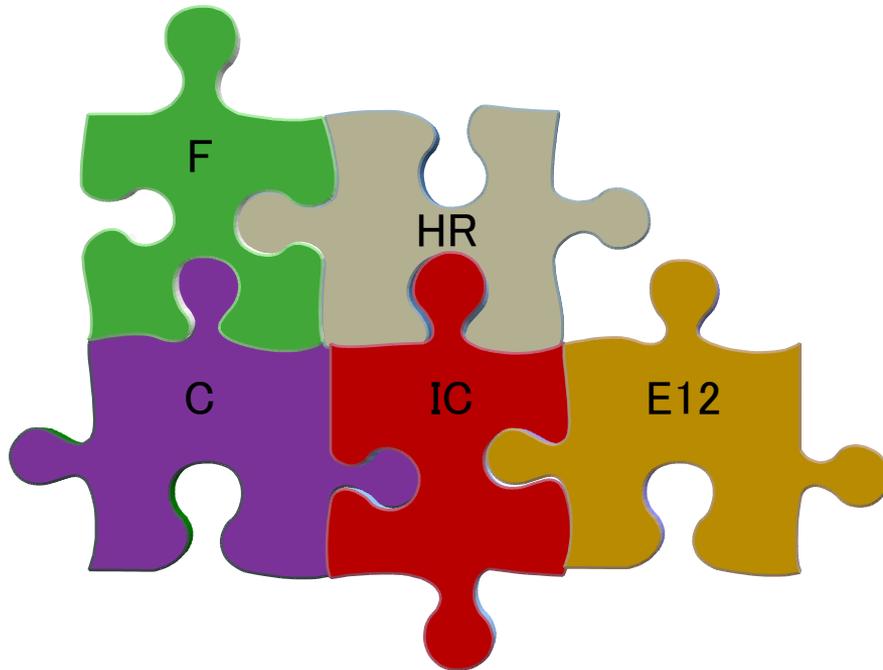
人的資源: 教職員情報

人的資源情報

- 提出内容
 - 職務別活動内容
 - ランクとテニユア情報
 - 人種・民族内訳
 - フルタイム・パートタイム別内訳
 - 性別内訳
 - 勤務時間

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



財務情報:

収入と支出に関する情報

財務に関する調査

財務情報はthe institution 's General Purpose Financial Statements (GPFS)という調査に回答

調査項目:

純資産

収入関係

支出

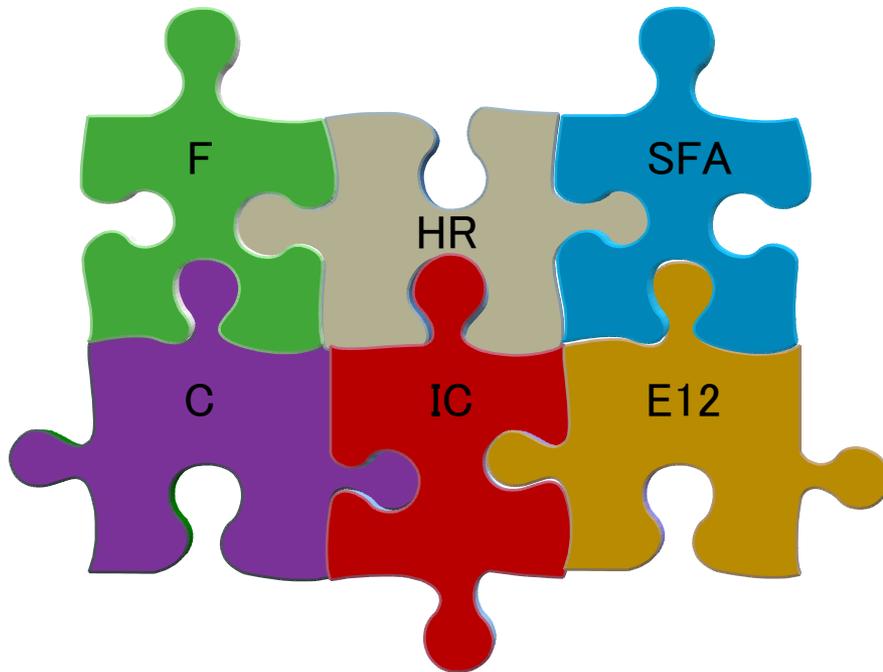
純資産の内訳

奨学金関係

寄付金関係

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



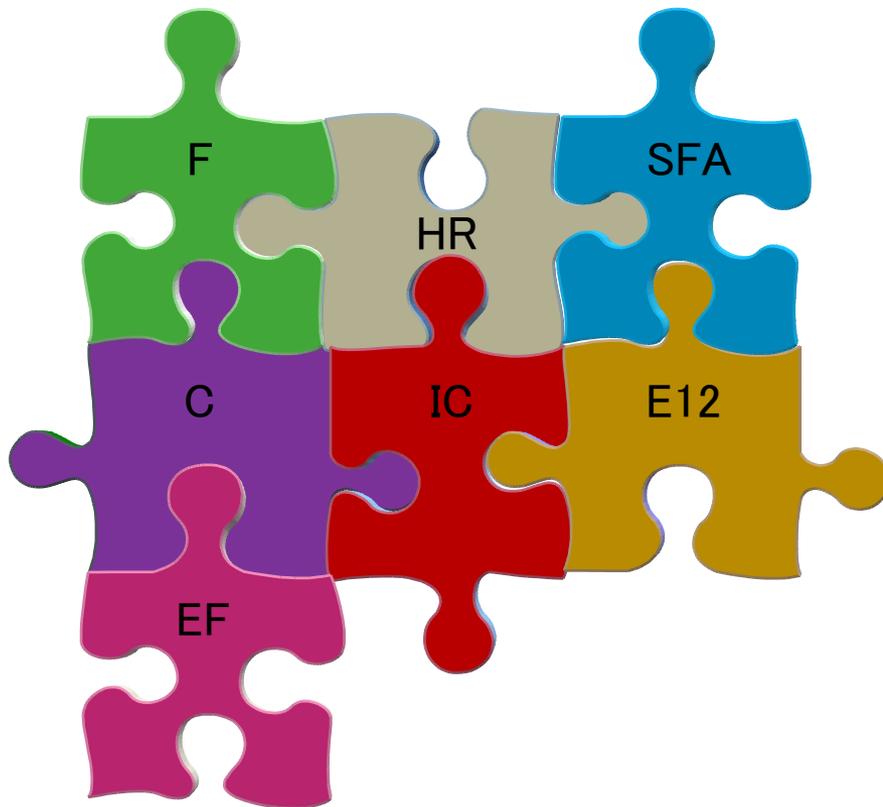
学生への奨学金情報:
種類、金額、奨学金受給者数

奨学金情報

- ▶ 学士課程学生への給付・貸与等種類別奨学金情報
 - ▶ 全学士課程受給者
 - ▶ フルタイム、パートタイム、学位・修了証取得プログラム在籍者別内訳

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



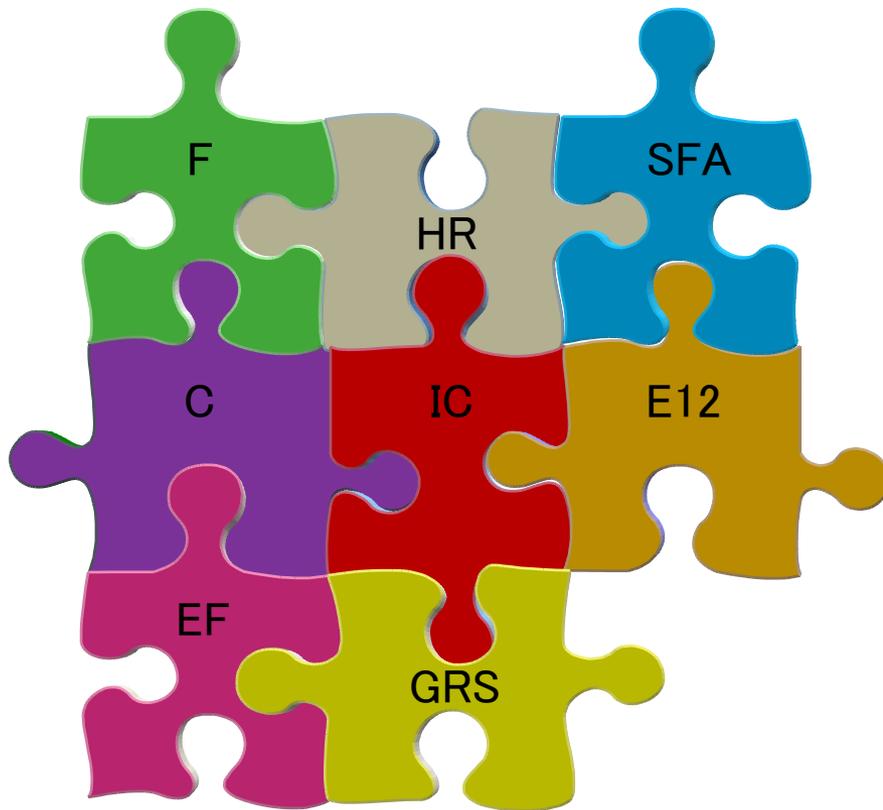
秋学期登録者数:
レベル別、登録者状況等

秋学期登録者数

- ▶ 学位取得につながる科目登録者数
- ▶ 定義
 - ▶ 登録日
 - ▶ 課程登録が初めてかどうか (FTIC = Fast Time in College)
 - ▶ フルタイムかパートタイムか

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



卒業率:

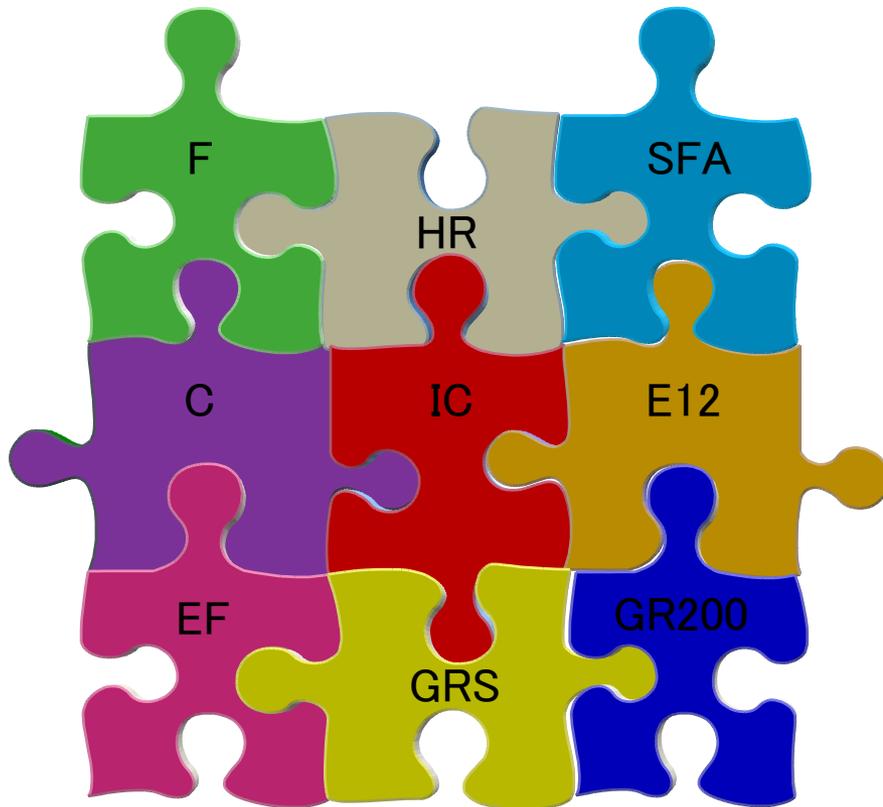
標準修業年限プログラム
と長期在籍プログラム
(あわせると150%として
設定)での卒業率

卒業率に関する調査

- ▶ 学位取得課程に始めて入学したフルタイム学生が卒業までにかかる期間(150%と設定)
- ▶ 標準終業年限の150%とは
 - ▶ 4年制では6年間
 - ▶ 2年制では3年間
 - ▶ 7.5年(4年制長期在籍プログラム)
 - ▶ 4.5年(2年制長期在籍プログラム)

IPEDSの構成要素

IPEDSはパズルのように10の要素から組み合わされている一連のデータ



卒業率200:
標準年限以内での卒業率
200%

GR200とは

- ▶ 4年制あるいは2年制機関での標準修業年限の200%で計算した卒業率
- ▶ 150%から200%の範囲以内で卒業した学生のデータを集積

Website



INTEGRATED POSTSECONDARY EDUCATION DATA SYSTEM

Go

[Home](#) [About](#) [Newsroom](#) [Training & Outreach](#) [NPEC: IPEDS R&D](#) [Publications](#) [Glossary](#) [Data Provider Center](#) [Staff](#) [Help](#)

Welcome to IPEDS

the primary source for data on colleges, universities, and technical and vocational postsecondary institutions in the United States

COLLEGE Navigator

Start a college search here. Find institutions, compare them side-by-side, print and save the results, and more.



IPEDS DATA CENTER

Start data analysis here. Compare institutional data, create reports, download data files, and more.



IPEDS TABLES LIBRARY

Find tables here. View and download national and state level data tables on enrollments, graduation rates, institutional prices, student financial aid, faculty and staff, and more.



This Week in IPEDS

August 3, 2009

Schedule and Changes for the 2009-10 Data Collection

There are two items in This Week in IPEDS:

- 2009-10 Data Collection Schedule is Available
- Changes to the 2009-10 Data Collection have been Posted

ANNOUNCEMENTS & ALERTS

July 30, 2009 - Changes to 2009-10 IPEDS

This document describes the changes to the 2009-10 IPEDS data collection.

July 9, 2009 - Creating a Custom Comparison Group for the 2009 IPEDS Data Feedback Report

Information and instructions on creating a custom comparison group of schools that can be used as part of an institution's 2009 IPEDS Data Feedback Report.

April 30, 2009 - New Training Video Available for the IPEDS Data Center

A training video is now available for NCES' new IPEDS Data Center.



Integrated Postsecondary Education Data System 2009 - 10

OMB NO. 1850-0582 : Approval Expires 6/30/2012

USER ID

PASSWORD

LOGIN

Fall 2009

The collection includes the Institutional Characteristics, Completions, and 12-month Enrollment components. The Fall collection opens September 2 and closes October 14, 2009.

Winter 2009-10

The collection includes the Human Resources component. The Winter collection opens December 2, 2009 and closes January 20, 2010.

Spring 2010

The collection includes the Fall Enrollment, Finance, Student Financial Aid, Graduation Rates, and 200% Graduation Rates components. The collection **opens December 2, 2009** and closes April 14, 2010.

Data Submission Info

Purpose and Uses of Survey Data

Institutional Burden

Participation in the Surveys

Procedures for Responding

2009-10 Data Collection Schedule

2009-10 Survey Materials

Changes to the 2009-10 Data Collection

Changes to IPEDS forms 2008-09 through 2010-11

Statutory Requirements for Reporting IPEDS Data

Surveys open for collection.

For coordinators

Fall Enrollment: 9 more days

Finance: 9 more days

Graduation Rates: 9 more days

Student Financial Aid: 9 more days

Graduation Rate Supplemental: 9 more days

Graduation Rates 200: 9 more days

Registration

Registration for the 2009-10 collection cycle is now OPEN. All keyholders are requested to register prior to August 26. After that date, the Help Desk will contact CEOs to ask to have a keyholder appointed. Keyholders will be given one UserID and password for the entire year (all 3 collection periods). Institutions may change keyholders at any time during the year. Please call the IPEDS Help Desk if you have questions.

Links to Tools

Data Submission Requirements

米国における新データベースの構築

米国における新データベース

- ▶ 2006年のアメリカ・スプリングス委員会報告により一気に共通データベースが進捗
- ▶ ランドグラント大学で開発されたデータベース
 - 何がわかるか＝志願者数、入試競争倍率、SATおよびACTの平均点、CLAの1・4年次点数、CIRPやNESSEの学生満足度等大学間比較になるデータが公開

新データベースとしてのThe College Portrait

- ▶ Voluntary System of Accountability(VSA)が作成
- ▶ The College Portraitの特徴
 - 公立の4年制大学が参加
 - 共通のフォーマットによるウェブ上のレポート
 - 学士課程教育段階の基本的で比較可能なデータを、学生、高校生、保護者を含む社会全般に提供するために開発
 - 米国州立大学協議会 (American Association of State Colleges and Universities以下AASCU)と米国州立大学・土地付与大学協議会 (the Association of Public and Land-grant Universities以下APLU)の学長、学部長等関係者がVSAデータベースの開発と構築に参加し運営

<http://www.collegeportraits.org/>

The College Portraitの機能

- ▶ ①高校生が大学選択をしやすいつールを提供
- ▶ ②透明性のある比較可能で理解しやすい情報の掲載
- ▶ ③公共へのアカウントビリティに対応
- ▶ ④効果的な教育実践を把握し高めるための教育成果を測定

多い参加校数

AASCUとAPLU加盟校数500のうち約300校が参加

提示される教育情報

- ▶ 3分類される情報
- ▶ ①学生や保護者にとっての基本的な情報＝・在学生情報、・卒業率やリテンション率、授業料や奨学金情報、入試情報、取得学位、学位プログラム、生活コストや生活環境、キャンパスの安全状況、卒業後の進路、カーネギー分類による機関情報
- ▶ ②学生の経験の状況調査や満足度など意識調査結果
ー 共通の調査としてNational Survey of Student Engagementを利用、CIRPを利用する機関も存在
- ▶ ③学生の学習成果に関する情報
The College Portrait参加大学はCLAを採用

CLAとは

- ▶ CLA=Collegiate Learning Assessment
- ▶ 大学で学んだ成果を標準的に測定し、大学間での比較を可能にするような測定ツールとして開発された標準試験
- ▶ 「クリティカル・シンキング」「分析的理由づけ」「問題解決」「文章表現」を包摂した包括的な能力を測定することを目的として開発
- ▶ 本データベース上では大学間での教育効果を比較するために低学年時にCLAを受けた学生に上級学年時にも再度CLAを受けさせるという「value added」方式を導入
 - 一定の期間での得点の伸張を測定し、その結果を公表
- ▶ CLAについては発展途上 測定方法も改善の余地はある

The College Portraitの課題と今後の動向

- ▶ 私立大学や威信度の高い州立研究大学はこのデータベースには参加していない
- ▶ 私立大学や威信度の高い州立研究大学はCLAに代表されるような標準試験を学習成果の測定ツールとして利用していない
- ▶ カーネギーの大学分類にもとづいて大学の種別化が進み、かつ種別毎に工夫された学習成果の測定が開発され、データベースも構築されていく可能性

米国における学協会の役割

- ▶ AIR Association for Institutional Research
- ▶ 米国のIRの団体 会員4000人以上 大学のIR担当者や研究者
多くの機関会員
- ▶ AIRの予算での最も大きなものは？
IRに関する人材育成
- ▶ 全米教育省や全米科学財団との緊密な連携によるワークショップの開催
IPEDSに関するワークショップが多く開催
- ▶ Institute of Education Sciences and National Center for Education Statistics (IES-NCES)との協同でのポスト修士IR修了証プログラムの開発と実践
ペンシルバニア州立大学、インディアナ大学
- ▶ 政府や地域関連団体との連携による合宿形式の職能開発プログラムや短期ワークショップの提供

日本への示唆

- ▶ アカウンタビリティへの対応は世界の共通点
- ▶ 学校基本調査をIPEDSのようなデータベースに構築することは可能？
- ▶ 既存のデータベースをどう利用するのか？



- ▶ わかりやすいデータベース構築が求められている



- ▶ 将来的には種別化した機関間でのデータベースの構築

-
- ▶ ご静聴ありがとうございました
ryamada@mail.doshisha.ac.jp